

はじめに

大学入試の漢字対策はこの一冊でまず大丈夫——そんな本が欲しいという要望に応えるために作られたのが、この「入試漢字マスター1800プラス」である。

以来、本書は数多くの受験生から絶大な支持を得てきた。今回の四訂版は、大学入試改革の現状も踏まえ、従来版をさらに改善したもので、以下の特徴をもっている。

◆入試に必須の約一八〇〇語と、プラスアルファを精選

書き取りと読みを合わせて約一八〇〇語、さらに共通テスト対策約一〇〇〇題に、四字熟語や派生語も収録。すべてマスターすれば、大学合格に十分な漢字の力が身につくはずだ。

◆すべての語に意味を明記

漢字の学習では、字の読み書きだけでなく、語の意味の理解も大切である。本書では、すべての語について、その意味を簡潔に併記。その場ですぐに意味を確認できるようにした。これによって、漢字力だけでなく語彙力もアップするはずである。

◆新常用漢字に対応

大学入学共通テストをはじめ、大部分の大学入試では書き取り問題の出題範囲が常用漢

字に限定されているが、二〇一〇年に改定常用漢字表が発表され、新たに約二〇〇〇字の常用漢字が追加された。本書はこの新常用漢字をほぼ網羅しており、常用漢字以外の字には*マークを記した。このように本書は、最新の入試の現状にも充分に対応している。

◆ 評論文に特有の表現を意識した例文

従来の漢字学習書に多い安易な例文や不快感を与える例文をできるだけ排除。入試頻出の評論文によく見られるような言い回し・内容を忠実に再現することを努めた。例文の意味を考えながらの学習は、漢字力・語彙力だけでなく読解力の向上にもつながるだろう。

◆ 派生語や誤りやすい字、同音異義語などのチェックが容易

正解の下の欄には、同じ字を使った派生語や、反意語、誤りやすい字などを記載した。また、入試で頻出の同音異義語については、できるだけ並べて載せるようにした。

◆ 共通テスト型問題への対応を強化

共通テストでは、要求された漢字を選択肢の中から選ぶ問題が出題される。近年は私大入試でも同様の出題が増加しているが、本書には、そうした「マークシート型漢字問題」のための練習問題も収録した。

◆ 現実の大学入試問題の多様性により密着

河合塾のデータにもとづいて調べた結果、現実の入試では、いわゆる頻出漢字以外を問

うような「思いがけない出題」も多いことがわかった。そこで本書では、従来の漢字学習書にはなかったような、易しいが普段あまり書くことのない語や、常用漢字以外の難しい語なども、あえて積極的に掲載した。それらの語には一部出題校名を記してある。

◆学習効率を上げる暗記用チェックシートを添付

添付のチェックシートを使用し、例文以外の部分を隠して学習することができる。また、本のサイズもコンパクトなので、どんな場所でも漢字学習ができるはずである。

○「正しい字体」を確認できるよう、漢字書き取りの解答部分には「教科書体」を採用しました。それ以外の部分には、一般の出版物に多く用いられている書体「明朝体」を用いています。書体によって字が微妙に異なる場合がありますが、入試ではどちらの形も認められているのが普通です。

○語の左側には意味が記されていますが、漢字のヒントにならないように、ひらがなを多く用いて記しています。

○本書に用いられている記号は、以下のとおりです。

*……常用漢字以外の字（共通テストでは出題されません）。

◆……常用漢字だが、例文中の読み方は常用外というもの。

反……反意語。 同……同意語。 ×……間違いやすい字。

可……正式な字体ではないが、許容されている字体。

- ❑ 1 細部にシユウチャクすると全体が見えなくなる。
「この部分に注力すること」「シユウジャク」とも
- ❑ 2 チンプな表現をくりかえす。
ありふれて平凡なさま
- ❑ 3 謙虚なのはいいが、自信をソウシツしてはいけない。
うしろさう
- ❑ 4 自己の内面を率直にトクする。
まことまこと
- ❑ 5 人間関係がエンカツに運ぶことを望む。
なめろが
- ❑ 6 コイに犯したことでなくても罪は罪だ。
DRUG(ドラッグ)
- ❑ 7 近代人はコユウな自己を求めずにいられない。
そのものだけにある性質
- ❑ 8 自己の実感にイキヨした見解を言う。
よからずい
- ❑ 9 夏目漱石は日本の急速な近代化にカイギ的であった。
つたがう
- ❑ 10 カジヨウ防衛的に自己の立場を守る。
過当な程度を超えた
- ❑ 11 かつては共同体の規律がゲンカクに守られた。
あひしい
- ❑ 12 鑑賞を通じて自らの批評眼をキタえる。
練習を重ね強くする

(東北大)

執着

固執

陳腐

喪失

「喪」の字に注意

吐露

露わ・露出・露呈

円滑

滑らか・潤滑

故意

固過失

固有

個々

依拠

依存・根拠

懷疑

過剰

余剰

嚴格

鍛

鍛錬(練)

- 1 芝居の大仰なせりふに違和感を覚えた。
おあげき
- ★ 2 為政者の横暴に人心が乖離した。
両き離れる
- 3 修行僧は煩惱ぼんのうからの解脱を志した。
束縛から脱して自由になること
- ★ 4 その歴史書は誤謬あやまり・まちがひに満ちていた。
- 5 叔父は白磁の陶器を愛惜あいきしていた。
惜しんで大切に
- 6 不肖ふせうの弟子だが、人々からは愛された。
悪か
- 7 放埒はうらつな生活から脱却する。
気ままにふるまう
- 8 カマキリは威嚇おこすことのしぐさで猫に立ち向かった。
おこすこと (明治大)
- ★ 9 心身が弛緩ゆるみたるむした時に、事故にあいやすい。
ゆるみたるむ
- 10 その作家の書く私小説は諦念あきらめの心・悟りの心に満ちていた。
あきらめの心・悟りの心
- 11 対戦相手を見て気力が萎おぼろえてしまった。
力が抜ける
- ★ 12 石川啄木の終焉しに絶むこと・最終の地は東京の小石川である。

おおぎよう

かいり

げだつ

ごびゆう

あいせき

ふしょう

ほうらつ

いかく

しかん

ていねん

な

しゅうえん

謬見

惜しむ

弛む・緩む

諦める

萎縮

□ 1 興奮して、喧嘩けんかクチヨウで話しかける。

① クゲンを呈する。

② 演技をクフウする。

③ イク同音に答える。

□ 2 誰もが認める説を、ヤツキになって否定する。

① 不注意にキインするトラブル。

② 優勝をキガンする。

③ 財産をキフする。

□ 3 その心境は、トウジシヤにしかわからない。

① ジリユウに迎合する。

② ジセキの念にかられる。

③ 交通ジコが増えている。

□ 4 単純な構造の道具はかえってヨウトが広い。

① 建物をベンキでトソウする。

② この町は開発のトジヨウにある。

③ 財産を子供にジヨウトする。

【口調】 ことばのちようし

① 苦言 耳の痛い忠告

② 工夫 よい方法を考える

③ 異口 多くの人のことばや説

【躍起】 むきになる

① 起因 げんいん

② 祈願 いのりねがう

③ 寄付 金品を贈る

【当事者】 じけんに直接かわっている人

① 時流 そのじだいの傾向・風潮

② 自責 じぶんをせめる気持ち

③ 事故 悪いじけん・災難

【用途】 つかいみち

① 塗装 とりようをぬる

② 途上 とちゆう・進行中

③ 譲渡 ゆずりわたす

- 1 その提案には誰もがイクトウオンに反対した。
多くの人がおもしろいことをいう
- 2 難問をイトウリヨウダンのもとに解決する。
かたがて真つじに斬るような明快な処理
- 3 なにかに熱中している人に話しかけてもバジトウフウだ。
人の意見などに反応しないこと
- 4 シュビイツカンしてひとつの主張を唱えつづけた。
最初から最後まで矛盾していない
- 5 日本人はイシンデンシンで通じ合うことを好む。
かんがえやおもいが言葉を使わずにつたわる
- 6 反省の様子がなくゴンゴトウダンのふるまい。
とんでもない・もつてのほか
- 7 多くの要素からシュンヤセンタクされたものが残った。
よいものをとり不要なものをはてる
- 8 ゼツタイゼツメイの窮地に至って初めて力を発揮する。
かじだやいのちが失われるほどの危機
- 9 通販の商品が届くのをイチジツセンシュウの想いで待つ。
ひじょうに待ちを運ぶ
- 10 私見をタントウチヨククニウに申し上げます。
事の要旨にいさぎよい口調

異口同音句*

一刀両断

馬耳東風

首尾一貫

以心伝心

言語道断

取捨選択

絶体絶命

一日千秋

单刀直入

句*

対*

規*

「言語」の読み方に注意

「一日千秋」とも